

第 58 回中種子町小学校陸上記録会

5・6年生の児童が記録に挑む

10月5日に、陸上競技場において第58回中種子町小学校陸上記録会が開催され、各小学校から5・6年生の児童が参加しました。

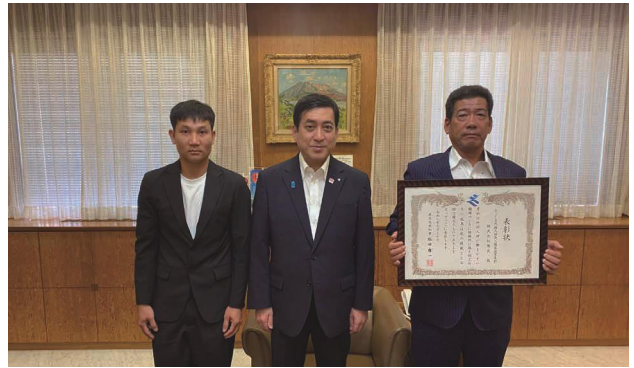
記録会では、1000m走やリレー、走り高跳びなどが行われ、児童たちは自己ベストや新記録を目指して競技に挑みました。

また、6年生男子1000m走と60m障害走の2種目で野間小学校の進藤凱真さん（畠田）が記録を更新しました。



県知事賞を受賞

竹屋野集落出身 畠中 隆氏



9月30日に、竹屋野集落出身の畠中 隆氏（建設会社隆成社長）が「かごしま外国人材受入優良企業」として県知事賞を受賞されました。

この表彰は、外国人材が働きやすい環境づくりに取り組み組んでいる優良企業を表彰するものです。

同社では、従業員の3分の2にあたる8人を雇用し、社宅提供や運転免許証の取得などを支援し、スキルアップを図っています。

地域おこし協力隊通信（No. 117）

地域おこし協力隊の鈴木花菜です。種子島で暮らすようになってから、台風の接近を身近に感じるようになりました。また最近では全国的に線状降水帯による浸水被害が相次ぎ、自然災害がより身近なものになっています。

島に来た当初は、防災無線の存在をあまり気にしていませんでした。中種子町では世帯ごとに戸別受信機が配布されていますが、私の地元では馴染みがありませんでした。扱い方がわからず、遠い部屋に置いたままになっていましたが、ある時「その情報、どうして知っているんですか？」と尋ねたとき、「防災無線で言ってたよ」と返ってきて、町での浸透率の高さに驚いたことを覚えています。それ以来、受信機を近くに置くようになりました。

先日、中種子町で土砂災害危険警報レベル4が発表された夜、私は勤務を終えて帰宅したところでした。雨風の音が大きく、避難した方が良いのか、町から何か情報が出ていないか落ち着かない気持ちで防災無線の放送を待ちました。同時に町のホームページや公式LINEを確認すると、避難所開設の案内が更新されており、状況を把握することができました。気づけば、自然と防災無線の放送を待つ自分がいたのです。

今回の警報をきっかけに、私も災害グッズを見直し、防災マップで安全なルートを確認しておこうと思いました。また、防災無線を聞き逃してしまった場合でも、町のホームページには防災情報や防災無線配信一覧が掲載されており、内容を確認できます。外出中には公式LINEがとても役立つので、まだ友達追加していない方はぜひ登録してみてください。

